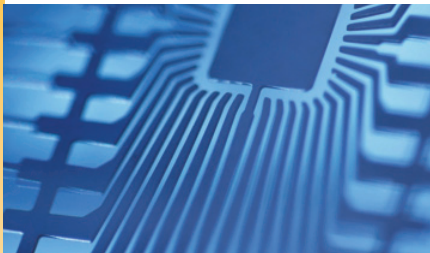


高分子添加剤の排出削減に向けた提言



高分子化合物やその他混合物には、目標とされる物理的・化学的特性の要件を満たすために、スペシャルティケミカル製品（特殊化学品）が添加されます。「排出自主規制プログラム」VECAP™は、これらの高分子添加剤の環境への排出の可能性を把握し、規制、軽減しようと打ち出された業界の積極的でダイナミックなプログラムです。

高分子添加物の排出削減を手助けし、環境への影響を最小限に抑えつつビジネスへの便益を最大限にする提言をいくつかまとめました。

作業上の留意事項

- 可能な限り、すべての高分子添加剤が高分子マトリックスとなるように努めてください。
- 高分子添加剤と廃棄物梱包容器は指定の閉鎖された建物内に保管してください。
- 空になった梱包容器に注意してください。プラスチック添加剤の排出源となる可能性が一番大きいのが、廃棄物梱包容器内の残留物です。

一般廃棄物に関する留意事項

高分子添加剤の一部が高分子化合物にならず、廃棄物が生成される場合、固形廃棄物は必ず回収し、焼却処分するかもしくは化学物質埋立処分場に搬送しなければなりません。また、廃水は必ず廃水処理施設でプラスチック添加剤を除去する処理を行わなければなりません。

空の梱包容器／廃棄物の陸上処理に関する留意事項

最も深刻な可能性のある排出は、梱包容器に残った残留物によるものです。粉末は梱包袋の内側面に張り付きやすく、袋の折り目やひだに入り込みやすいものです。また、液状プラスチック添加剤は多くの場合、粘性が高く、容器から完全に取り除きにくいものです。

- 梱包容器の使用量を最低限に抑えましょう。高分子添加剤が粉末の場合は、大袋の方が好ましく、20-25 kg用の紙袋やポリ袋は、そのサイズの容器が工程で必要とされる場合のみに限るべきです。
- 液状プラスチック添加剤は温めると容器から流れ出やすくなります。内側面をこすると、より完全に製品を除去できます。
- 御社の供給業者に、袋または中型容器（IBC）を空にする方法に関する最良事例資料を請求してください（いずれについてもポスターやパンフレットの形態で用意されています）。

大気中への排出に関する留意事項

高分子添加剤は、微粉末形状の製品が大半を占めており、梱包袋を空にする際に粉塵が生成されます。大気中への排出や不健康な作業条件を回避するために、フィルター付き換気システムを導入すべきです。なお、フィルターは化学廃棄物として廃棄する必要があります。

廃棄物に関する留意事項

高分子添加剤の大半は、水への溶解度が低く、旧来の廃水浄化システムでは生物学的な分解がなされません。

- したがって、漏出した高分子添加剤を水で洗浄しないでください。ドライ洗浄が望ましい方法です。
- たとえば工程内の溶液槽を洗浄した際などのやむを得ない廃水は、次の生産工程で再利用し、廃水処理には回さないのが理想的です。
- 高分子添加剤を含んでいる廃水と他の廃水とを混ぜないでください。
- 廃水処理プラントやシステムから生じる汚泥は化学廃棄物として処理してください。

研修

環境研修プログラムを推進・維持・記録してください。自分たちが従事する工程における環境負荷への認識が欠けていては、最良の作業指示や手順を整備しても成果は上がりません。環境研修ニーズの促進と意識向上が必要です。

さらなる詳細について：

プロダクト・スチュワードシップを担当するVECAP Product Steward（メールアドレス：info@vecap.info）にご連絡いただくか、VECAPウェブサイト（www.vecap.info）をご覧ください

VECAP は、欧州難燃剤協会（EFRA）の加盟企業が業界の国際団体である臭素科学・環境フォーラム（BSEF）とともに自主的に取り組んでいる事業です。